

「暮らしの中の和と洋ブックを作ろう！」

本単元で育成する資質・能力

思考力・表現力

1 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領第3学年及び第4学年の「C 読むこと」「B 書くこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

C(1) エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

B(1) ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

(1) 単元観

本単元は、文章の中にある対比構造を読み取ったり、調べたことを目的に応じて引用したりすることをねらいとしている。教材文に書かれていることとほかの資料で調べたことを、「暮らしの中の和と洋ブック」にまとめ、紹介するという言語活動を設定している。

本教材は、暮らしの中の「住」における「和」と「洋」の違いやそれぞれの良さを対比して、わかりやすく説明したものである。そのため、文章の中にある対比構造を読み取らせることに適した教材である。また、「暮らしの中の和と洋ブック」にまとめるという活動を設定することで、児童の視野を広げ、読み取りに続く、調べ学習への意欲につなげることができる。

本単元の学習においては、教材文の大まかな構成をとらえた上で、対比構造に注意しながら段落相互の関係をとらえることが必要となる。既習事項を生かし、指示語や接続表現、中心となる文や語句に着目することで、段落相互の関係をとらえさせていきたい。

(2) 児童観

学力調査等に関する実態

文と文の意味のつながりをとらえることができる児童は、68%、段落相互の関係をとらえることができる児童は76%、中心となる文や語をとらえることができる児童は72%であった。このことから、「読むこと」において、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えることは十分でないことが分かる。

資質・能力に関する実態

「授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。」(72%)、「授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材したりしています。」(68%)に課題が見られた。自分の考えを持ってはいるもの、友達と考えを出し合いながら考えを深めたり、自分が知りたい情報を取り出し、整理したりすることが十分でないと考え。また、言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現する主体性・積極性が十分でないと考え。また、課題を解決するための情報を集め、必要に応じて整理・分析し、まとめていく思考力・表現力に課題がある。

(3) 指導観

本単元では、「暮らしの中の和と洋ブック」を作るという学習課題を設定し、児童が教材文を主体的に読み取る目的意識を持たせる。読み取る際には、教材文を形式段落ごとに順序を入れ替えたものを、まとまりごとに構成し直す活動を行う。そのことを通して、段落相互の関係を中心となる語をもとに考えたり、文章の構成、対比に気付かせたりすることができる。と考える。

「暮らしの中の和と洋ブック」を作るために、必要な資料を探し、見つけた資料の中から必要な情報を収集し、整理させ、集めた情報を引用したり要約したりしながら調べたことを文章にまとめさせる。

導入では暮らしの中の和と洋を見付けさせ、自分がどの和と洋について調べていくのかを決める。そして、教材文を一つの資料ととらえ、資料から必要な情報を収集し、整理する方法を習得させる。教材文は「住」のみの記述であるため、「衣」や「食」についてグループを設定し情報収集活動を行う。その後、自分が集めた情報を持ち寄ってグループで整理させることで自分の考えを積極的に伝えようとする意欲を高めさせたり、友達と話し合っ自分の考えを深めたり広げたりする体験をさせたりして、課題とする資質・能力の向上を図る。

(4) 単元でめざす児童の姿

- 問題を解決するために、進んで資料を探し、必要な情報を集めて「暮らしの中の和と洋ブック」にまとめようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 自分の考えを述べたり調べたことを紹介したりするために、文章の必要な部分を引用したり要約したりしている。(読むこと)
- 調べたことをもとに「和」と「洋」を比較しながら理由や事例を挙げて文章を書いている。(書くこと)

2 単元の評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
単元 の 評 価 規 準	○くらしの中の「和」と「洋」の違いに関心を持ち、目的に応じて引用したり要約したりして、「くらしの中の和と洋ブック」を作ろうとしている。	○自分の考えを述べたり調べたことを紹介したりするために、文章の必要な部分を引用したりようやくしたりしている。	○調べたことをもとに、「和」と「洋」を比較しながら、理由や事例を挙げて文章を書いている。	○段落相互の関係に注意しながら、指示語や接続語の役割を理解し、自分で文章を書く際に用いている。

3 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

「くらしの中の和と洋ブック」を作るために、情報収集・情報整理する方法や、集めた情報を引用したり要約したりしてブックにまとめる方法を教材文から学びながら、自分たちが調べたい「和」と「洋」について情報収集していく。小グループ学習を積極的に取り入れ、友達と考えを持ち寄ることによって、必要な情報を取捨選択する思考力・表現力を育成する。

4 指導計画 (全 15 時間)

次	学習活動		資質・能力の評価 (評価方法)
一	<p>課題の設定</p> <p>フィル先生が日本に来て、「和」と「洋」の違いで戸惑ったことを伝え、「和」と「洋」それぞれの良さをもっと知りたいと思っていること知り、解決方法を考え、単元の学習計画を立てる。(1) 自分が調べたい「和」と「洋」を決める。(1)</p>	<p>進んで暮らしの中の「和」と「洋」を探そうとしている。</p> <p>【関・意・態】(ノート、行動観察)</p>	
	<p>【本質的な問い】調べたことを目的に応じて引用したり要約したりするにはどうしたらよいだろう。</p> <p>【学習課題】暮らしの中の「和」と「洋」を整理して、それぞれの良さをフィル先生にわかりやすく伝えるために「暮らしの中の和と洋ブック」を作ろう。</p>		
二	<p>情報の収集</p> <p>「くらしの中の和と洋」に書かれていることが、何をどのように比べて述べているかに注意して教材文に書かれている内容を読み取る。(2)(本時3/15)</p> <p>自分が調べたい「和」と「洋」について、いろいろな資料から調べ、必要な情報を集める。(2)</p> <p>整理・分析</p> <p>自分が集めた情報を、何をどのように比較するか、表に整理する。(2)</p>	<p>教材文を読んで、構成をとらえ、どのような点から和室と洋室の良さを読み取っている。</p> <p>【読む】(ノート・行動観察)</p> <p>いろいろな資料から、観点を明確にしてそれぞれの良さをまとめている。</p> <p>【読む】(ノート・行動観察)</p>	
三	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>「くらしの中の和と洋」に書かれていることを引用や要約を使ってまとめる。(2) 自分が集めた情報を、引用したり要約したりしながら文章にまとめる。(2) 他の人のブックを読み、相互評価し合い、自分の文章を推敲する。(1)</p> <p>実行</p> <p>全体でブックを発表し合い、相互評価し合う。(1) ※後日、フィル先生に説明し、評価してもらう。</p>	<p>自分の考えを述べたり調べたりしたことを紹介するために、集めた情報を引用したり要約したりしている。</p> <p>【読む】(ブックの文章)</p> <p>「くらしの中の和と洋ブック」を読み合い、どのように情報を活用しているのかを確かめている。【読む】(発言、ノート)</p>	<p>自分が書いた文章について、視点をもって自己評価したり友達と相互評価したりしながら、推敲している。【思考力・表現力】</p> <p>言葉を通じて積極的に人と関わり自己表現している。【主体性・積極性】(ノート、行動観察)</p>
四	<p>ふりかえり</p> <p>単元の学習を振り返る。(1)</p>		

5 本時の展開 (4/15 時間)

(1) 本時の目標

教材文を読み、文章の構成をとらえることができる。【読む】

(2) 観点別評価規準

教材文を読んで、構成をとらえ、どのような点から和室と洋室の良さを比べているのかを読み取っている。【読む】

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (・) 配慮を要する児童への支援 (◆)	評価規準 (評価方法) 教科の指導事項 (○)
1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時のノートを見させて、学習内容を想起させる。 	
2 学習課題を設定し、方法を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">段落のまとまりに気を付けて並び替え、書かれていることを確かめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> グループに分かれて、段落をまとまりにし、小見出しを付けてまとめる。 	
3 グループでまとめたものを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 和室と洋室の違い、どんな点から良さを比べているか、まとまりをとらえる手がかりになる言葉、比べていることがよく分かる言葉などを根拠に説明させる。 ◆ ホワイトボードを見せながら大きな声で発表できるよう支援する。 	○ 大事な言葉や比較表現などを手がかりにして、文章の構成をとらえてそれぞれの良さを読み取っている。 【読む】(ノート)
4 発表をもとに書かれている内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 書いている内容を表に整理し、「くらしの中の和と洋ブック」を作る際の方法を確認する。 ◆ 板書を見ながら視点に沿ってノートに書かせる。 	
5 振り返る。	①自分の考えを積極的に伝えることができたか。 ②学習の方法でうまくいったこと、または失敗したこと。(理由) ③次に試してみたいこと。	